

myzox

レーザー墨出器 P-series LASER

P-410

P-310

P-210

■測量・土木機器から環境を創る

株式会社マイゾックス

URL:<http://www.myzox.co.jp>

〒480-1111

愛知県愛知郡長久手町山越 401 番地

TEL 0561-62-8151 (代) FAX 0561-62-4660

●サポートセンター

TEL 0561-62-4661 (代) FAX 0561-63-7116



取扱説明書

改良のため製品の設計および仕様などを予告無く変更する場合があります。

特 徴

- 防塵、防滴構造 (IP54) (但し電池 BOX は除く)
- 軽量、コンパクト設計 (約 800g)
- 素早く正確な磁気補正機構
- 補正範囲外をライン点滅でお知らせ ($\pm 2^\circ$ 以上)
- 受光器対応 (ラインの見えにくい明るい環境でも使用可能) ※受光器別売

注意事項

ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みになり、指示に従って正しく使用してください。

- レーザーを直接覗き込んだり、人に向けたりしないで下さい。(クラス1Mレーザー製品)
- 必ず精度確認を行ってからご使用ください。
- 安定した場所で無理の無い体勢でご使用ください。
- 改造、分解はしないでください。
- メインスイッチOFFで振子がロックされます。運搬は確実にメインスイッチをOFFにしてから行ってください。
ロックをしないと精度不良の原因となります。
- 電池交換は3本同時に行ってください。新品電池と中古電池の組合せでご使用にならないでください。
- 衝撃、振動を与えないでください。
- 電池 BOX は防滴構造ではありません。電池 BOX に水が浸入した場合は、水分をよく拭き取り乾燥させてください。
- 濡れた状態でケースに収納しますと、結露、内部錆びの原因となります。水分をよく拭き取り、乾燥させて収納ください。
- ご使用後は必ず収納ケースに入れて、極端な高温及び低温にならない場所、湿気、ほこり、熱気、磁気、振動のない場所で保管してください。
- 汚れた場合は柔らかい布で軽く拭き取ってください。レーザーの射出窓は傷が付かない様十分に気を付けてください。
- ラインが点滅した状態でご使用にならないでください。
- 長期間使用しない場合には、電池を抜き取り保管してください。
- 常に高精度を保持する為、年に1~2回以上の定期点検をお勧め致します。
- 修理はお求めの販売店にご相談ください。

目次

1. 仕様	1
2. 各部の名称	2
3. 使用方法	
3.1 電池の装着	3
3.2 精度検査	3
3.3 水準調整	3
3.4 メインスイッチ	4
3.5 コントロールパネル	4
3.6 MODE ボタン	5
4. 精度検査	
4.1 ヨコライン	6
4.2 仰角	6
4.3 タテ・大矩	7
4.4 直角	7
4.5 地墨点	8
4.6 天頂クロス	8
5. 保証	9
6. 付属品	9

5. 保証

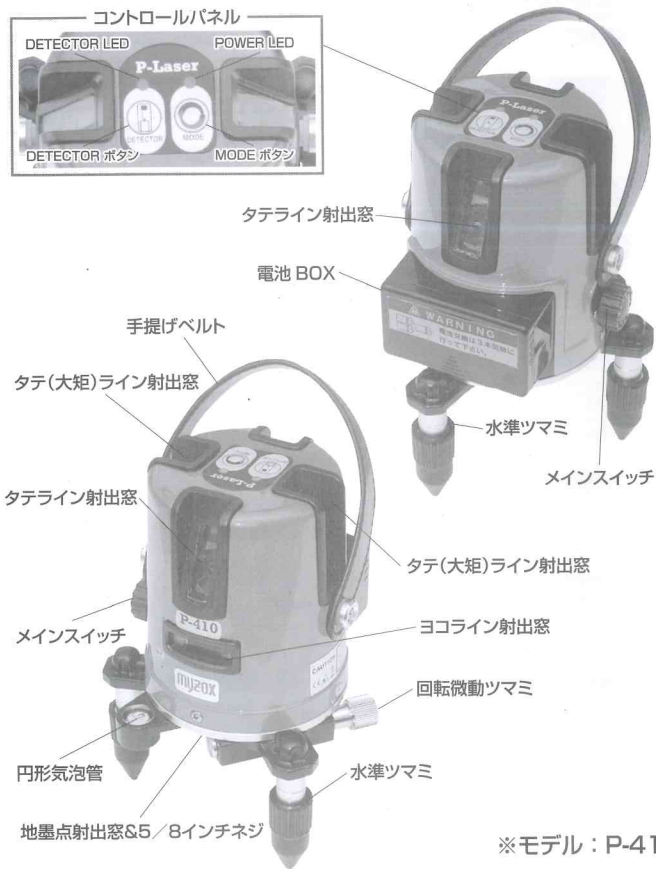
付属の保証書には「お買い上げ年月日」「お客様名」「販売店名」等の各項目を必ず明記してください。無い場合無償修理サービスが受けられない場合があります。

段ボール箱は修理の際に製品の保護の為、必要となりますので大切に保管してください。

6. 付属品

収納ケース、テスト用単3アルカリ乾電池3本、取扱説明書

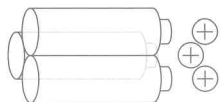
各部の名称 2.



3. 使用方法

3.1 電池の装着

電池ボックスカバーを開けて電池の取り付け向きに気を付けて装着します。



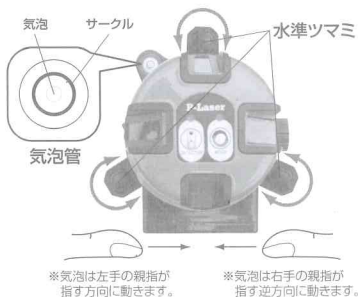
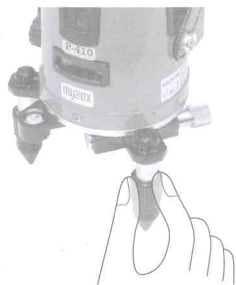
※電池 BOX は防滴構造ではありません。
電池 BOX に水が浸入した場合は、水分をよく拭き取り乾燥させてください。

3.2 精度検査

使用前にライン、点が精度範囲内であるか確認してください。
(検査方法については P.6~参照)

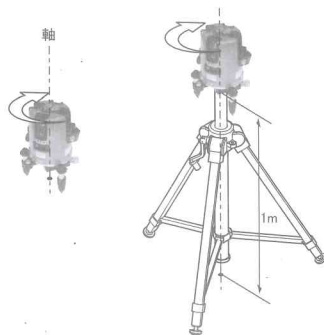
3.3 水準調整

傾斜面で使用する場合には円型気泡管のサークル内の中心に気泡が来る様に水準ツマミを回して調整します。



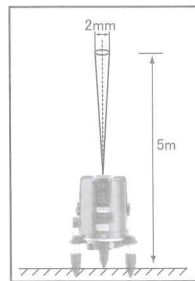
3

4.5 地墨点

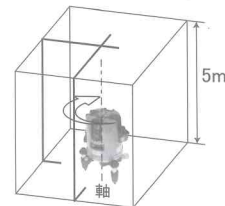


- ① 機器を床に置いて軸上で180°反転させたとき、地墨点が始めの位置とほぼ同じであることを確認してください。
- ② 今度は三脚などを使用して機器を床から1mの高さに設置し、軸上で180°反転させたとき、地墨点が始めの位置と2mm以内 ($\pm 1\text{mm}/1\text{m}$) のズレであれば精度範囲内です

4.6 天頂クロス

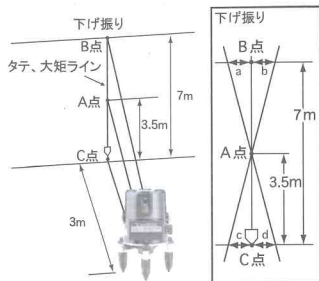


- ① 高さ5mの天井がある場所で機器を床に置いて軸上で180°反転させたとき天頂クロス交点が始めの位置から2mm以内 ($\pm 1\text{mm}/5\text{m}$) のズレであれば精度範囲内です。



8

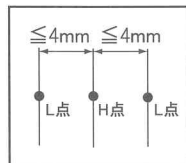
4.3 タテ・大矩



- ①床から7mの高さに下げ振りを設置します。
- ②機器を壁から3m離して設置し、タテラインを下げ振りのA点に合わせます。
- ③下げ振り上部 B点とタテラインの差 a, b が、C点とタテラインの差 c, d が精度範囲内であればOKです。

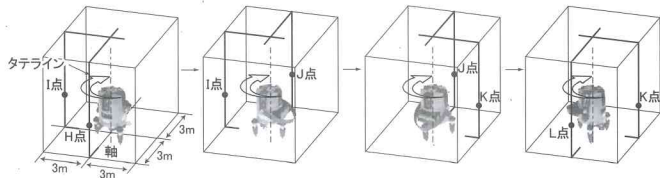
※全てのタテラインについて同様に検査してください。
 ※7mの下げ振りが確保できない時は、3.5mの下げ振りでA点を1.75mとし、同上の検査をしてください。この場合、精度範囲は±0.5mmとなります。

4.4 直角



- ①機器を壁から3m離して設置します。
- ②図の様にH点、I点をマークします。
- ③機器を軸上で90°回転させます。タテラインをI点に合わせた状態でJ点をマークします。
- ④機器を軸上で90°回転させます。タテラインをJ点に合わせた状態でK点をマークします。
- ⑤機器を軸上で90°回転させます。タテラインをK点に合わせた状態でL点をマークします。
- ⑥H点とL点の差が4mm以内であれば精度範囲内です。

※全ての大矩ラインについて同様に検査してください。



3.4 メインスイッチ

本機側面のメインスイッチを ON にすると、レーザーラインが射出します。

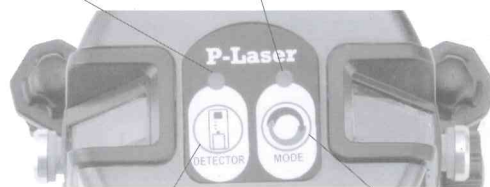


3.5 コントロールパネル

POWER LED

メインスイッチが ON 時に緑 LED が点灯し、振子ロックが解除されます。
 メインスイッチが OFF 時に緑 LED が消灯し、振子がロックされます。

DETECTOR LED



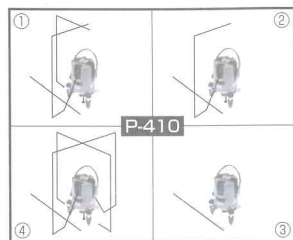
DETECTOR ボタン

DETECTOR ボタンを押すと緑 LED が点灯し、受光器使用可能な状態になります。もう一度押すと緑 LED が消灯し、受光器使用不能な状態になります。

MODE ボタン

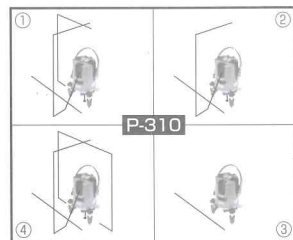
メインスイッチを ON にするとレーザーが射出します。MODE ボタンを押す度に射出ラインが切替わります。

3.6 MODE ボタン



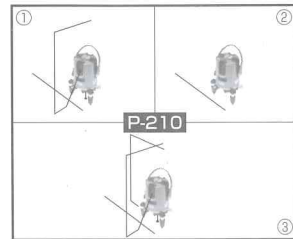
①メインスイッチ ON
ヨコ1本・タテ4本・地墨点

- ①ヨコ1本・タテ2本・地墨点
- ②ヨコ1本・タテ1本・地墨点
- ③ヨコ1本
- ④ヨコ1本・タテ4本・地墨点



①メインスイッチ ON
ヨコ1本・タテ3本・地墨点

- ①ヨコ1本・タテ2本・地墨点
- ②ヨコ1本・タテ1本・地墨点
- ③ヨコ1本
- ④ヨコ1本・タテ3本・地墨点



①メインスイッチ ON
ヨコ1本・タテ2本・地墨点

- ①ヨコ1本・タテ1本・地墨点
- ②ヨコ1本
- ③ヨコ1本・タテ2本・地墨点

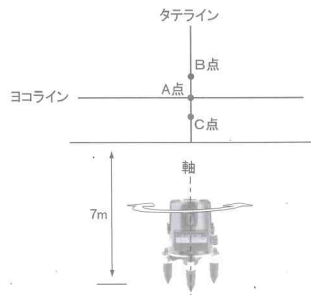
※タテ・ヨコラインの交点付近では受光器を使用しないでください。受光器が誤作動を起す場合があります。

※受光器使用可能な状態の場合、ラインが若干暗くなりますが故障ではありません。

ご使用前に必ず精度検査を行ってください。

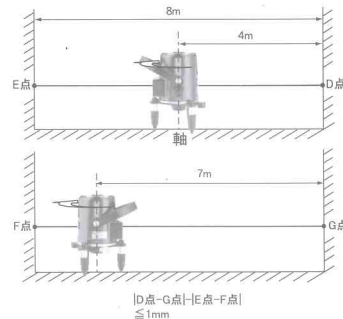
本器円型気泡管のサークル内の中心に気泡を入れてから精度検査を行ってください。

4.1 ヨコライン



- ①機器を壁から7m離して設置し、ヨコ・タテラインの交点にA点をマークします。
- ②軸上で機器を左に回転させ、ヨコライン末端にB点をマークします。
- ③軸上で機器を右に回転させ、ヨコライン末端にC点をマークします。
- ④A点とB点、A点とC点の差が精度範囲内であればOKです。

4.2 仰角



- ①機器を8m離れて向合う壁の中間に設置し、一方の壁にヨコラインが映る位置にD点をマークします。
- ②その場で反転し、もう一方の壁にE点をマークします。
- ③機器をD点マークの壁から7m離して設置し、E点マークの壁にヨコラインを当て、F点をマークします。
- ④その場で反転し、もう一方の壁にG点をマークします。
- ⑤D点とG点の差、E点とF点の差を求めその差を減算し、精度範囲内であればOKです。